

船井情報科学振興財団奨学生レポート

2015年8月

勝谷郁也

進級試験 ELEC599

今学期（2015年春学期）末は進級試験があり、授業を1つのみでよく、ELEC599と呼ばれる研究プロジェクトに集中しました。今回は無事に終わった進級試験に関して、詳しく書きたいと思います。

研究プロジェクト自体は前学期から行って、その続きを今学期も行いました。研究内容は2次元系物質の高磁場分光です。今学期は装置の立ち上げを昨年末の帰国時に訪問した共同研究先（東北大学）からのインターンの学生と行いました。その学生は高磁場の専門なので、彼からコイルやキャパシタバンク、機械加工等の様々なことを学びました。装置立ち上げ後はその装置を使って高磁場分光の実験を行っていきました。

そして、4月からは実験結果を10ページほどのレポートにまとめていきました。この進級試験では、研究背景の把握、実験の内容・理論を理解、今後のプロジェクトの計画立てが求められます。理論を詳細に書いたり、計画等を入れるため、分量は2ブロックに分けての10ページと標準的な論文よりも多く、仕上げるのは非常に苦労しました。一通り書いたレポートを指導教官に添削して頂いたところ、恥ずかしながら、ほぼすべての文章の書き直しとたくさんのコメントを頂きました。コメントに沿って書き直ししながら、何度も添削して頂き、ようやく完成し、審査員の先生方と学科の取りまとめに提出することができました。そのあとは、2週間後の発表と口頭試問に向けて準備をしていきました。無事に発表を終えて、質問にも答えることができ、試験を通過することができました。あまり落とされる人はいないというのをよく耳にはしていましたが、レポート提出前はみんな同様に、追い詰められたような顔をしていたように思います。終わった後は、Qualifying Exam（学科によって試験が全く違い、化学科は2年生の最後に試験）が終わった化学科の友人たちと飲みに行き、合格を祝い合いました。

次は修士論文を書き上げる必要があります。修士論文は投稿論文を元に書かれるので、来学期は投稿論文の提出に向けて、精進して参りたいと思います。

生活

先日、寮を出て、自分で探したアパートに住み始めました。ライス大学周りはダウンタウンから近く、またテキサス医療センターがあることから家賃が高いため、6マイル（10km程）離れたところから、車で通学しております。車はライス大学を離れる日本人の研究者の方から譲って頂きました。

同級生の友人が指導教官の異動に伴って、ブラウン大学に移るということで、ダウンタウンにあるヒューストン一番（と噂される）のラーメン店に連れて行きました。進級試験のお祝いもかねての会で、友人も私も存分にラーメンを楽しみました。友人は研究分野が同じであることから、学会での再開を約束し、新たな地へと見送りました。

船井情報科学振興財団の御支援があって、今学期も勉学に励むことができました。

この場をお借りして、御礼を申し上げます。